

Vol. 1 創刊 TAKE FREE

KOKORO

Medical corporation Yamashita Hospital [こころ]
since 1901



<https://www.yamashita-hp.jp/>

お
な
か
の
病
院



Medical corporation Yamashita Hospital

おなかの病院

<https://www.yamashita-hp.jp/>



創刊のいきさつ

山下病院は明治34年創立以来、120年以上にわたり地域医療の一翼を担い、現在では消化器専門病院へと発展して参りました。

お身体の不調があった時、まずは近くの診療所へ受診され、必要があれば病院へご案内する仕組み、つまり診療所と病院の連携は、待ち時間だけでなく、検査の重複を防ぎ、必要な時に必要な診療を安心してご受診いただく事に繋がっています。

高度な医療設備を持った病院と身近にある診療所の連携体制は、患者さんにベストな治療提供や早期発見へ繋げるために、なくてはならないものです。当院ではご紹介いただいた患者さんの検査・治療が終わり次第、ご紹介いただいた診療所にお引継ぎをさせていただいております。医療サービスの役割・棲み分けを行うことが、「病院」「診療所」の共存共栄や、医療機能の維持・向上に繋がります。

このように当院は今後も地域医療発展に貢献して参ります。

本誌では、お住まい地域の診療所の情報を皆さまにお知りいただき、地域全体で患者さんが安心できる医療提供の一助となるよう「KOKORO」情報を発信して参ります。

医療法人 山下病院

taki 瀧 消化器内科クリニック

本誌創刊初の医師紹介特集にご協力いただきましたのは、瀧消化器内科クリニック瀧智行先生です。

瀧先生は、平成5年より山下病院内科医として消化器医療にご尽力いただき、後平成17年には山下病院副院長として、最先端の経鼻内視鏡をはじめ、苦痛の少ない検査で多くの患者さんに質の高い医療をご提供いただきました。

山下病院の、内視鏡検査・治療の発展は瀧先生なしではありえず、技術のベースの多くを構築、現在までの消化器専門病院としての発展に多大なるご貢献を賜っております。

平成23年瀧消化器内科クリニック開院後も、内視鏡医療を中心に年間約1500件の内視鏡検査を実施され、地域のかかりつけ医として多くの支持を得ておられる先生です。開院後も、山下病院との連携関係は厚く、毎年100件以上のご紹介をいただいております。



山下病院勤務当時に贈られた先生との思い出と繋がりの深さが 伺える検査着

さらに山下病院と共に、地域の医療機関が専門性を活かし連携して医療を提供する『地域完結型』への移行にもご尽力いただいております、地域医療推進に多大なる貢献をされている先生です。

(文) 山下病院 地域連携広報企画室 係長 片桐



瀧消化器内科クリニック

院長 瀧 智行 先生

瀧消化器内科クリニック一押しポイント

スタッフが、瀧消化器内科クリニックの理念を理解し、チームワークよく、一生懸命、診療に協力してくれていることです。

当院の理念

消化器内科、特に内視鏡医療を中心に、医療を通じて地域社会に貢献する事

当院の特徴

- 1 日曜日の検査(胃カメラ・大腸カメラ・腹部超音波検査)
- 2 日帰り大腸ポリープ切除
- 3 鎮痛剤(痛み止め)・鎮静剤(眠り薬)を使った楽な検査
- 4 安全で質の高い内視鏡検査
- 5 内視鏡業務に携わる専門スタッフ
(内視鏡認定技師免許を取得等)
- 6 プロ意識を持ったスタッフ(熱意・創意・誠意)



2006年経鼻内視鏡検査(鼻からの胃カメラ)での雑誌掲載記事より



地域の皆様の健康維持・増進・病気の早期発見・治療に取り組みたい

連携医療機関 特集医師インタビュー

Q 消化器内科医を志したきっかけを教えてください。

A 自分自身おなかが弱く困っていた事、研修病院（小牧市民病院）で素晴らしい上司に巡り合うことができた事、内視鏡検査が好きである事です。



待合室にて展示されている内視鏡カメラ

Q 患者さんと接する上で、大切にされていることは何でしょうか？。

A 自分にできる範囲で、一生懸命対応をさせていただく事です。

Q 一宮市神山という土地での開院するきっかけは何だったのでしょうか？

A 急遽開院することになり、日頃よりお世話になっております不動産会社の方にご相談をしました所、現在の場所をご紹介・

手配していただきました。

自分は旧尾西市出身であり、一宮駅より西側へ旧尾西市での診療の場をさがしました。地主の方、近所の方にも大変良くしていただき、ここで開院することができ、良かったです。

Q 地域のかかりつけ医として、心がけていることを教えてください。

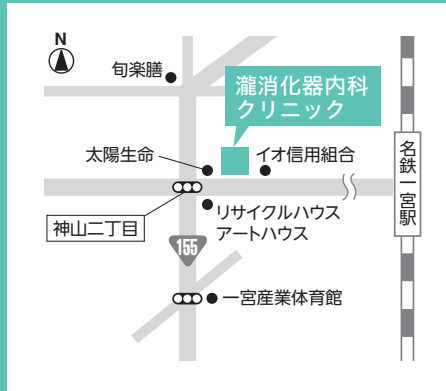
A 自分が専門としている消化器医療・内視鏡医療でより良い医療を提供させていただく事です。また自分の専門領域以外でも、できる範囲で対応はさせていただきますが、より専門の医療が必要と判断した場合には、病院・ご専門のクリニックにご紹介をさせていただいております。

皆さんに常に最善の医療を受けていただける心がけております。『病院にかかりたいけど、どの病院に行ったら良いのかわからない』方も多いかと思えます。当院からも専門の病院にご紹介をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

Q おなかの症状で悩んでいる方へのメッセージをお願いします。

A おなかの症状はつらいものです。またそのつらさは自分にしかわからないものです。癌などの病気がないことを調べる検査、少しでも症状が治まる治療等、対応をさせていただきます。お気軽にご相談ください。

（インタビュー／山下病院 地域連携広報企画室 主査・安藤



瀧消化器内科クリニック

【診療科目】 内科・消化器内科

【検査】 胃・大腸健診の二次検査、胃カメラ検査、腹部超音波検査、大腸カメラ検査 など

外来診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	—	○	○	○	□
午後 13:00～16:00	☆	☆	—	☆	☆	☆	—
午後 16:30～19:00	○	○	—	○	—	—	—

☆ □ は完全予約制

☆：大腸検査

□：一般診療・腹部超音波検査・胃カメラ・大腸カメラ

【休 診 日】 水曜日・祝日、土曜日夕方、日曜日午後

〒491-0904 愛知県一宮市神山1丁目4番2号
TEL.0586-47-7023 FAX.0586-47-7024



この冊子を手に取ってくれた方へのメッセージをお願いします。

特に、敬遠されがちな内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）を、少しでも多くの患者さんに受けていただける様に取り組んでおります。

『検査を受けたいけど辛そうだからイヤだ。』、『以前検査を受けた時に辛かった』、『検査を受けたけれど、平日にしか病院に行けない』など、検査を受けたいけど、踏ん切りがつかない方・日程が合わず検査を受けられず困っておられる方は多いかと思えます。検査を楽に受けていただける工夫をし、また平日以外の土曜日・日曜日にも検査が受けられる様に、ご用意をさせていただいておりますので、お気軽に受診してみてください。検査予約はお電話でも可能です。

一宮地区において、胃がん・大腸がんで困られる患者さんが少しでも減り、また皆さんが健康で過ごせる事につながればと思っております。クリニックでできる事は主に、病気の発見、診断までであり、またできる治療にも限りがあります。手術・入院治療等が必要な場合には、山下病院をはじめとした病院に、診療をお願いさせていただいております。

病院・近隣のクリニックと協力をし、皆様に適切な医療を提供し、少しでも皆さんのお役に立てる様、スタッフ一同頑張っております。

最後に、お世話になりました二人の先生よりいただき、今も診療に際し肝に銘じている二つの言葉を、ご紹介させていただきます。

『ぴかりと光る医療』 山下病院（故）服部外志之先生

『王道を歩め』 元名古屋大学医学部消化器内科教授 現名城病院病院長 後藤秀実先生





理事長 服部 昌志

山下病院は1901年(明治34年)開院以来、地域医療の一翼を担い、消化器専門病院として発展して参りました。患者さんと医療者はパートナーであるという考えのもと、日本水準の消化器医療を実践しています。「お腹(おなか)」のことで気になることがありましたら、山下病院へご来院ください。



名誉院長 中澤 三郎

山下病院は本年10月で第482号になります“心”という院内冊子を発行していますが、山下病院の医療の理念は冊子の題名の通り心であり、1901年開院以来、変わっておりません。病院関係者及び患者さんとの心の結び付きを大切にきて来ました。医療技術の発達した現在でもお互いの心と心のつながりを第一に安心、安全な医療を心がけてまいります。



医療参与 乾 和郎

胆道や膵臓を中心に消化器のいろいろな病気に対する診断と非手術的な治療(低侵襲治療)に長年、携わってきました。多くの学会から専門医や指導医の資格をいただいています。医療の進歩によって治療法の選択肢が広がっていますが、自分の身内のつもりになって患者さんと一緒に考えることをモットーにしています。胆嚢や膵臓の病気は診断が難しいためセカンドオピニオンを求められることが多いですが、わかりやすく説明することを心がけています。



消化器内科医長 岩田 悠嗣

消化器内科専門医として、消化器診療全般にたずさわっており、主に胃カメラ・大腸カメラの検査・治療に尽力しています。胃癌や大腸癌の早期発見のためには、内視鏡検査が必須ですが、どうしても苦痛がありそうだとということで敬遠されがちです。そういう方が少しでも減ればとの想いで、日々苦痛のない検査を心がけています。お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医長 (健診センター兼務) 泉 千明

消化器病専門医としてお腹の症状全般の診療に携わっています。長年お困りの便秘やお腹の張りなど、病院に行くほどのことなのかな?というような悩みを、どこにも相談できず抱えられている方が多くいらっしゃると思っています。困っている症状を気軽に相談でき、適切な医療を提供できるよう心がけています。よろしくお願いいたします。



山下病院 医師紹介

内科

消化器内科統括部長 松崎 一平

名古屋大学附属病院で内視鏡技術を磨き、2015年に当院に赴任した後も、胃・大腸カメラによる患者様の苦痛を最大限軽くするため、最先端の技術を学び研鑽し続けてきました。「医療従事者の労働環境を改善し、多くの患者様を救う。」という研究、啓蒙活動も行っています。ひとりでも多くの方に、「今までで一番良かった。」と言って頂けるよう、質の高い内視鏡検査、治療を提供し続けます。



消化器内科部長 菊池 正和

食道、胃、十二指腸疾患を専門にしていますが、消化器内科疾患全般の診療を行っています。患者様に寄り添う医療の提供を常に心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医員 福沢 一馬

消化器病診療に携わり、少しでも多くの方に、安心して、楽に検査を受けてもらえるよう、日々研鑽・尽力してきました。検査も同じ臓器を調べるにも様々な方法があります。病気の早期発見や、気になる症状の改善のため、お気軽にご相談いただきたいです。よろしくお願いいたします。



放射線科診療部長 伊藤 哲

放射線画像診断では、患者様と直接お話しさせていただく機会はありませんが、よりよい診療を提供したいという思いは同じです。正確な画像情報を素早く提供することで、医療の質の向上に努めて参ります。





院 長 片 山 信

当院の基本理念のひとつである、「『心』を大切に」は、初代院長である山下隆先生からずっと受け継がれ続けてきた言葉です。これからもこの言葉を大切にし、職員一同、患者さんに寄り添いながら、心のこもった医療を提供していきます。

外 科



副 院 長
高 野 学

医師を志してから、患者さんに提示する医療行為が自分に行ってほしい医療と一致することを銘じております。現在の標準的治療を知識として知るのみではなく、実践できるように日々鍛錬する所存です。この地区で消化器疾患で病院にかかるなら山下病院と言われ続けられるよう更なる高みを目指します。

健診センター



健診センター
副 院 長
杉 山 和 久

消化器内科医として医師の経歴をスタートし研鑽を積みました。その後に飛騨高山で地域医療に従事するなかで、健診人間ドックの重要性に気付きました。臨床医学としての消化器内科と予防医学としての健診人間ドックの両面から患者さん、受診者さんのお役に立てる様に努力いたしております。自分の健康は自分で守る時代です、そのお手伝いが出来れば幸いです。



外科参与
小 倉 豊

腹腔鏡手術は、開腹手術に比べれば負担の少ない治療ですが、内視鏡治療ができれば、より身体的負担が少なくて済みます。内視鏡治療ができる段階で大腸がんを見つけるためにも、定期的な大腸がん検診を受けていただきたいと思います。頻度としては、1年に1回くらいの受診をおすすめします。またその際、便潜血検査だけではなく、視覚的に評価できる「大腸CT検査」または「大腸内視鏡検査」を受けるようにしましょう。



消化器外科部長
廣 瀬 友 昭

ご病気で手術が必要と診断された場合、とても大きな負担がかかることと思います。手術そのものの体の負担以外にも、手術内容の理解が難しいことや、手術後の療養・通院などの治療全体のイメージがわかりにくいことから生じる不安などの心の負担もあると思います。体の負担も心の負担も少しでも減らすことができるよう適切な治療、適切なお話ができれば、と考え日々診療を行っています。もし、治療のことでお困りのことがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。



消化器外科医長
浅 井 悠 一

胃癌や大腸癌の腹腔鏡手術を中心とした消化器疾患全般の手術加療や外来診察を担当しております。患者さんのお気持ちに寄り添い、ご満足頂けるような医療を提供できるように心掛けております。お気軽にお声掛けください。



健診センター長
大 島 章

健診に対しても、診療と同じように、科学的データを基に臨むよう心がけています。皆さんにお伝えしたいメッセージは、「禁煙」と「減塩。お酒はほどほどに」で、これは10年来ずっと変わっていません(なかなか浸透しませんけど...)。また、日本のがん死亡をみると、肺がん、大腸がん、胃がんが多いので、タバコを喫う方には胸部CTを、便潜血陽性の方には大腸検査(大腸内視鏡や大腸CT)を、一度も検査したことがなければピロリ菌検査を、おすすめします。



消化器外科医長
鳥 居 直 矢

消化器外科専門医として手術・外来診察を担当させていただいております。患者様やご家族へのわかりやすく丁寧な説明を心がけております。外来・病棟でお困りの事がございましたらお気軽にご相談ください。



消化器外科医員
山 川 あ り さ

患者様やご家族に寄り添い、安心・安全な医療を提供できるように心がけます。お困りの際はお気軽にご相談ください。



麻酔科部長
滝 塚 敦

私が2012年に山下病院に赴任して早10年が経ちました。その間ほとんどのオペ症例において麻酔専門医である私が同じく麻酔専門医の非常勤麻酔科医による全身麻酔を行ってきております。また常勤麻酔科医による術前診察から術後回診まで可能な限り快適かつ安全性にも日々心掛けており、術後は出来るだけ痛くないように積極的に硬膜外麻酔や最近では超音波ガイド下神経ブロックを術後鎮痛として用いております。是非安心してご来院して頂けますよう宜しくお願い致します。



おなかの病院



13 minutes walk from the station

99 beds
Acute-care 79
Community-based care 20



Medical corporation Yamashita Hospital

<https://www.yamashita-hp.jp/>

〒491-8531 愛知県一宮市中町1丁目3番5号 TEL: 0586-45-4511

 医療法人 山下病院
Medical corporation Yamashita Hospital

一宮市 おなか 病院

